2024年（令和６年）
１月１日
月曜日
第２２４６号

# 教育家庭新聞

発行所＝教育家庭新聞社
〒111-0053東京都台東区浅草橋3-1-8
TEL:03(3864)8241㈹　FAX:03(3864)8245
郵便振替口座 1309−53693　Eメール kks@kknews.co.jp
https://www.kknews.co.jp/
創刊 昭和36年７月
Ⓒ教育家庭新聞社　１部 480円

# GIGAスクール構想第２期を成功させる

## PISA2022で好結果
## 教育ウェルビーイングが評価

高性能ＰＣをＰＣ室に配備

指示は最小限で個別活動時間を確保

シンキングツールで個人の考えを整理

学習成果を継続して掲示

2022年6月から8月、日本においては約6000人の15才を抽出して実施されたPISA2022（OECD生徒の学習到達度調査）の結果が2023年12月に公表された。多くの教員の肌感覚に近い結果が出たのではないだろうか。

まず、数学的リテラシー、読解力、科学的リテラシー3分野すべてにおいて2018年の前回調査（以下、前回調査）より平均点が上昇。他国のほとんどが平均点を下げている中においての上昇という点が感慨深い。特に読解力と科学的リテラシーが有意に上昇した。詳細を見ると、読解力と科学的リテラシーでは低得点層の割合が有意に減少。かつ数学的・科学的リテラシーでは高得点層の割合が有意に増加した。

OECDは、他国と比較して新型コロナウイルス感染症の休校期間が短かったことが影響した可能性があり、日本は「レジリエントな国・地域」の1つであると評価した。「レジリエント」の基準は次の項目の前回調査からの比較だ。▼数学的リテラシー ▼教育におけるウェルビーイング（学校への所属感） ▼教育の公平性

レジリエントとは、回復力があること、強靭であることを意味する。特にコロナ禍においてウェルビーイングすなわち「生徒の学校への所属感」指標が向上している点は興味深い。日本の教育関係者のコロナ禍における対応の成果である。

今回の好結果はまず、GIGA端末等の配備の影響が挙げられる。試験当時の端末整備・活用状況は各学校間で差があるものの、多くの子供たちが、貸与された端末ではなく「自分の」端末で受験できたことの影響は少なくないはずだ。ICT環境についての調査でも「学校でのICTリソースの利用しやすさ」指標はOECD平均を上回った。

それに加えて端末・ネットワーク環境にバラつきがあったコロナ禍初期における学校や教育委員会のそれぞれの努力―オンライン授業が提供できない学校はプリント配付やコンテンツ配信などそれぞれの環境でできることに取り組んでいたことでウェルビーイングが向上した可能性がある。

好結果とはいえない要素もある。

自律的に学ぶ自信が日本は極めて低かったこと、また、数学においては実生活における課題を数学を使って解決する自信が低いこと、数学を実生活における事象と関連付けて学んだ経験が少ないことだ。

また、各教科でのICT利用頻度や生徒自身が情報収集・記録・分析する割合、プログラムを作成したりコンピュータでトラブルが起こった時に原因を特定したりできる自信についてもOECD諸国と比較すると平均以下であった。

これらも教員にとって納得できる結果ではないだろうか。いずれも現在の学習指導要領に盛り込まれている事項と重なっており、それに向けた授業改善が現在進行形で進められているところである。今後のポテンシャルは大きい。

本調査結果を受けて文部科学省では「現在の学習指導要領及びGIGAスクール構想の方向性は間違っていなかった。現在の課題は著しい格差が生じている点。この格差を解消するために、GIGAスクール構想第2期に向けた施策を補正予算及び次年度予算に計上した」としている。

## 1人1台端末を確実に更新
## 予備機上限15%最大限活用を

2023年度補正予算においてGIGAスクール構想における1人1台端末の更新に関する予算として2661億円が計上され、承認された。今後5年程度をかけて端末を計画的に更新するための予算だ。

このうち予備機として必要整備台数の上限15%分を計上。概算要求時よりも増えている。この15%の予備機について文部科学省では上限まで活用し、教員やICT支援員や講師、実習生や保健室など普段から幅広く稼働すること、そして何より故障を恐れず日常的に児童生徒が端末持ち帰りを行うことを期待している。

調査によると日常的に持ち帰りをしている学校は3割弱。大多数が禁止もしくは緊急時のみの持ち帰りである。その理由で最も多いものが「故障の心配」だ。文部科学省では「学びの継続や保障のため家庭においてもクラウドと端末活用は必要。適切な刺激により子供はどんどん学んでいく。多様性を増した子供に自己決定の機会を与えることが大事。それを禁止することは子供の伸びる可能性に蓋をしているような状況である」としている。PISA調査で日本の課題の1つであった「自律的に学び続ける」経験を蓄積するための環境にもつながる。

**■ルール見直しなど国庫補助に条件提示**

なおGIGA端末予算申請において文部科学省は「条件」を付ける考えだ。詳細は検討中だが、現時点で次の内容が想定されている。▼日常的活用の計画 ▼指導者用端末の整備 ▼通信速度の測定（アセスメント）▼クラウドを積極的に活用できるような教育委員会ルールの見直し ▼標準的なGIGA環境で可能な校務DXの徹底。

端末活用の効果を高めるためにも教委独自の過剰なレギュレーションは一掃すべきであり、活用が上手くいかない理由の多くは子供ではなく学校環境もしくは慣行ではないかと課題を投げかけている。

端末の共同調達も強力に推進。各事業者によるピッチイベントも実施予定で、これはデジタル庁が主催。その後、各自治体において独自に行うことも想定している。基本仕様は提示するが、それ以上のスペック配備は自治体判断となる。

特にネットワークアセスメント調査においては2023年度本予算にも「GIGAスクール運営支援センター」機能の一部として盛り込んでいたものの、対応できていない教育委員会が多かったことから、補助単価を上げ（1校上限100万円・補助率3分の1）1事業として切り出した。

なお文部科学省では2023年11～12月にネットワーク速度調査を行っており、その結果を踏まえて整備と環境改善に生かしてほしいと考えている。

**■校務ＤＸで生成ＡＩも活用**

校務DXについては生成AIの活用も推進する考えだ。既に多くの学校で、様々なテキストの素案作成などが始まっている。

チャット活用も推奨。チャットにより教員のすき間時間を利用することができ、出張先からの指示も可能になるなど意思決定が速くなる。新たな技術に慣れ親しむことが教育活動においても適切に対応する素地となることから、最先端技術の経験としてまずは校務で活用してほしいと考えている。なお文部科学省では2023年9～11月に「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」に基づく自己点検の調査（学校34項目・教委18項目）を行っている。

生成AI活用については次の段階として授業活用も想定。2023年度からスタートしたリーディングDXスクール事業については、生成AIを活用した授業研究に取り組む学校を追加。全額国費で派遣される学校DX戦略アドバイザー事業についても引き続き実施。年明け早々に募集を開始する。多くの自治体の利用を期待している。

**■さらに次の更新見据え26年度中に効果測定**

2023年11月に閣議決定した総合経済対策では、GIGAスクール構想第2期を見据えた計画的な更新と共に、概ねの更新が完了する2026年度中に活用状況について検証。さらに次の更新に向けて検討を始める。次はいよいよ日常的な活用と授業改善による「成果」が本格的に求められることになる。

## 次期ICT環境整備方針を検討
## 令和の日本型教育をより豊かに

次期ICT環境整備方針の検討が始まっている。本方針は、GIGAスクール構想環境を維持・発展させるための考え方を整理し、かつ地方財政措置の積算基礎となるもの。地方財政措置は、既に国費補助が決まっているGIGA端末更新のための予算とは別枠となる。

現状の地方財政措置は2018年度に策定された「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画」に基づいており、それを2年間延長。これが2024年度で完了するが、策定当時は想定していなかったクラウド環境や、サイバー攻撃の多様化に対応するための高度なセキュリティ対策の必要性など、バージョンアップが必要だ。主な検討事項として、通信環境の改善、次世代校務DXに向けた校務系・学習系ネットワークの統合を踏まえた対応、大型提示装置や実物投影機ほか周辺機器、ICT支援員等の支援体制などの考え方が整理される予定だ。

これまでの会議では、ネットワーク統合を踏まえた多要素認証やセキュリティが高いOSライセンス、負荷の高い処理を行うことのできるような一定程度高性能な端末等の配備、遠隔スタジオやVR活用環境など新たな機能を持つPC教室、GIGAスクール運営支援センターの費用の継続的な担保の必要性などが指摘されており、これらに関する予算が地方財政措置として計上される可能性がある。

ある教育委員会では、多要素認証や日常連絡等においてSIMなしスマートフォンを教員に配備することを検討している。一般企業では会社予算によりスマートフォンや情報端末が配備されていることから、それと同等の環境整備が学校にも必要であろうという考え方で、社会全体を見た整備が学校に必要であるという意見だ。

また、より高度なICT支援が求められることから、現状のICT支援員制度において機微情報のセキュリティ管理を委託することは難しい面があり、より前進した仕組みの検討の必要性も指摘された。

なお自治体環境により必要なものが異なる可能性があり、マストな整備と共にオプションも含めて提示する方向になりそうだ。

自治体間の環境格差が生じていることの理由の1つが地方財政措置の利活用状況である。ICT教育環境整備に関する地方財政措置はすべてそのために活用していくという強い方針を打ち出したいところだ。

ICT授業を支える「快適無線」

Wi-Fi6対応 アクセスポイント ACERA 1320
FURUNO SYSTEMS

## 新春特別号

授業の効果・検証まとめサイト
全国の先生や児童生徒の声を多数掲載！
2500人以上の声を掲載中！
GAIA LABO ACTIVE LEARNING

2024年 Google Jamboard™ 終了までに
▶ Google スライド™ にふせん機能を追加 ◀
Suite ツール for Education

紙面案内

年頭所感
文部科学省・省庁　2・3面
教育関連団体　4－7面
47都道府県教育長　8－11・13面
学校施設特集　16－17面
新春対談2024　18面

デジタル採点で採点業務を効率化!!
デジらく採点2 クラウド
ー無料お試しキャンペーン実施中ー
スキャネット株式会社
https://www.scanet.jp/
☎ 03-4582-3933 ✉ info@scanet.jp

卒アル制作業務を劇的に短縮！
AlbumScrum 全国1,800校で導入
顔認証AIで生徒の登場回数を楽らくカウント！
撮影会社を変更せずにご利用可能
文科省の働き方改革事例集に掲載
お問合せ先 03-6431-8071（平日11:00～18:30）
アルバムスクラム 検索
EXEC 株式会社エグゼック 〒153-0064 東京都目黒区下目黒1-2-12 白金ビル

アガサ・クリスティー
とらえどころのないミステリの女王 ルーシー・ワースリー著『タイムズ』紙・ブック・オブ・ザ・イヤー選出。クリスティーは職業を聞かれれば無職と答え、書類には主婦と記入した。当時の規範により、平凡なふりをして生きた非凡な女性作家の生涯。3520円
シャーロック・ホームズとジェレミー・ブレット
「ホームズ俳優としてのブレットを知るためには最適の書」。作品について、本人・共演者・製作陣の言葉と、百点以上のカラー図版とともにたどる。好評、発売即重版。2970円
モーリーン・ウィテカー著 日暮雅通 監修 高尾菜つこ 訳
原書房 ☎03-3354-0685（税込） FAX03-3354-0736 〒160-0022東京都新宿区新宿1-25-13

いま 子どもたちに知ってもらいたい！
中学生から身につけておきたい賢く生きるための金融リテラシー
[著]子どもの学び編集部 [執筆協力]宮下由多加
[定価]1,760円(税込) [体裁]四六判・136頁
お金の成り立ちから家計管理、金融トラブルまで初歩からお金を学べる一冊。
高校生からのPython入門
[著]立山秀利 [定価]2,420円(税込)
[体裁]B5変型・240頁
高校の必修科目「情報Ⅰ」の教材として全国数多くの高校で採用！
株式会社ジャムハウス
〒170-0004東京都豊島区北大塚2-3-12-302
TEL 03-6277-0580 FAX 03-6277-0581
http://www.jam-house.co.jp

第25回 学校図書館出版賞 大賞 受賞シリーズ【全7巻】
ひとりでできるかな!? 国土社のLLブックス
掃除、洗濯、電車の乗り方、身だしなみ、病院の受診や栄養バランスのとれた食事……そんな自立した日常生活を送るのに必要なスキルを読書の得意不得意や障害の有無などに関わらずだれでも学べるようにできるだけわかりやすく写真やイラスト中心に解説していくシリーズ。
読書工房／編著 ◆A4変 ◆各48頁 ◆各巻定価3520円（税込）
国土社 TEL 03-6272-6125 FAX 03-6272-6126 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-5

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を目指して
奈須正裕，伏木久始 編著
A5判・352頁・定価2640円
個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実とは。この問いに，当代きっての著者たちが，理論と実践の両側面から迫る。
自立的で相互依存的な学習者を育てる
コレクティブ・エフィカシー
J.ハッティほか 著 原田信之 訳者代表
四六判・272頁・定価3080円
子どもたちの学びを力強く育むコレクティブ・エフィカシーとは？ビジブルラーニング研究の確かな知見に基づき解説する。
北大路書房
〒603-8303 京都市北区紫野十二坊町12-8
TEL 075-431-0361 FAX 075-431-9393
https://www.kitaohji.com （価格税込）

■教育出版■
国語教育指導用語辞典 第五版
田近洵一・井上尚美・中村和弘 編
算数教育指導用語辞典 第五版
日本数学教育学会 編著
大好評ロングセラー辞典の最新版！新学習指導要領に対応。今求められる項目をそれぞれ増補。
各A5判／上製・ビニル装・ケース入 定価：本体4000円＋税
〒135-0063 東京都江東区有明3-4-10 TFTビル西館
TEL：03-5579-6725 FAX：03-5579-6693
https://www.kyoiku-shuppan.co.jp

国立天文台が編纂した自然科学と環境のデータブック
理科年表2024
普及版 A6判 定価1,650円(税込)
机上版 A5判 定価3,520円(税込)
気象、火山、地震などの身近な関心事も含め、自然科学の全分野の最新情報を網羅した1216頁！ホットな話題を解説したトピックスも満載。
環境年表2023-2024
A5判・528頁 定価3,300円(税込)
環境に関する幅広い分野の最新データとトピックスが充実。今後の地球環境を考えるSDGsの基礎資料としても活用できる。
丸善出版
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17
https://www.maruzen-publishing.co.jp

朝倉書店
◎子どもの読書に関する理論と実践をまとめた事典。
子どもの読書を考える事典
汐﨑順子 編 A5判 496頁 定価9900円
現場を熟知している編者・執筆陣による，図書館や司書，子どもの読書にかかわる全ての人にとって本当に役立つレファレンス。
◎郷土史研究に必要な年表・地図と重要語を地方別に！
郷土史年表・資料集
阿部猛・夏目琢史 編
B5判 528頁 定価22000円
（内容／天皇一覧／全国城郭一覧／人口の変遷／鉱山一覧／度量衡表／記録・文書用語集／特産品一覧／災害一覧／他）
備蓄・栄養・要配慮者対応など多角的に解説。
災害食の事典
一般社団法人 日本災害食学会 監修
A5判 312頁 定価7150円
新宿区新小川町6-29
☎03-3260-7631・FAX03-3260-0180
https://www.asakura.co.jp(税込)

オーム社
専門家以外でも知っておくべき身近なリスクとその対策がわかる！
「サイバーセキュリティ、マジわからん」と思ったときに読む本
大久保隆夫 著
四六判／176頁／1980円／ISBN978-4-274-23103-2
目で見て，仕組みを知って，二度楽しめる電子部品の図鑑！
オープンサーキット 美しい電子部品の世界
Eric Schlaepfer・Windell H. Oskay 共著 秋田純一 訳
B5判／304頁／4180円／ISBN978-4-274-23093-6
101-8460東京都千代田区神田錦町3-1
TEL03(3233)0853 FAX03(3233)3440
https://www.ohmsha.co.jp(価格は税込)